

12月14日金曜日

午後4時20分～5時50分

アジア地域統合研究試論
Formulating Asian Integration Study

金曜セミナー

寺田貴 アジア研究機構准教授
「東アジア地域主義の実証・理論分析」

19号館 609教室 聴講自由 事前申し込み必要なし 日本語

午後6時～7時30分

浦田プロジェクト&深川プロジェクト 合同

「経済領域」セミナー

藤村学 青山学院大学経済学部教授
Ulrich Volz ドイツ開発研究所研究員

**Political Economy of Japanese Monetary and Exchange Rate Policy
- with Special Reference to East Asian Monetary Cooperation**

19号館 609教室 聴講自由 事前申し込み必要なし 英語

グローバルCOEプログラム「アジア地域統合」プロジェクトのご紹介

当プログラムは、アジア統合について、政治・安全保障領域、経済領域、社会・文化領域、クロス領域、複合領域など、多領域にわたって共同研究と教育活動を進めています。今回関連する三先生のご担当するプロジェクトの内容は、以下の通りです。

寺田 貴プロジェクト「東アジア地域主義の実証・理論分析」

通貨危機以降、東アジアではASEAN+3や東アジアサミットなど、地域主義の制度化が、地域化及び地域統合の進展と共に進んでいる。本プロジェクトでは、これらの動きを「パワー」、「利益」、「規範とアイデンティティ」という3つの理論枠組みを通して、「何が」、「どのように」、「なぜ」起こっているのかを分析し、実証・政策的考察に厚みを持たせたい。

浦田プロジェクト「FTAと地域経済統合」

東アジアにおいては21世紀に入り、自由貿易協定（FTA）が急速に増加しているが、東アジアを包摂するようなFTAは設立されていない。設立されたFTAの経済的効果を検討すると共に、東アジアFTA設立の可能性を探る。

深川プロジェクト「東アジアの資金フローと今後の金融協力」

通貨危機後の東アジアでは多くの国で金融自由化と国内制度の整備を目指す改革が進んだ。改革と制度の収斂の下で、域内の資本フローをどう変わったか、また健全な域内還流の拡大・持続にはどういった協力が必要か、を探る。